

2007.07.31

土用の丑の日

ニポンでは、「土用の丑(うし)の日」にウナギを食べることになってるけど、この「土用」ってのは、別に夏だけのことじゃない。「春の土用」「夏の土用」「秋の土用」「冬の土用」ってふうに、土用は1年間に4回もある。で、「春の土用」は「立夏までの18日間」、「夏の土用」は「立秋までの18日間」、「秋の土用」は「立冬までの18日間」、「冬の土用」は「立春までの18日間」って決まってる。これは、古代中国の「五行思想」っていう自然哲学から発生したもので、「五行思想」では、すべてりものは「木」「火」「土」「金」「水」の5つの「気」から作られてるって言われてる。それで、「五行思想」では、春に「木」の気、夏に「火」の気、秋に「金」の気、冬に「水」の気があるって言ってるんだけど、そうすると、「土」の気がどこにもなくなっちゃう。

それで、四季それぞれの最後の18日間を間借りして、「土」の気のぶん振り分けたのが、「土用」ってワケだ。だから、1年間の「土用」は、ぜんぶで、 $18日 \times 4 = 72日$ ってワケで、他の季節は約3ヶ月ずつ、つまり、約90日ずつだから、 $90日 - 18日 = 72日$ ってワケで、「木」「火」「土」「金」「水」の5つに、約72日ずつ、うまいこと振り分けられてる。

だから、本来なら、四季それぞれの最後の18日間を総合したものが「土用」なんだけど、今では、夏の土用だけが有名になっちゃって、「土用」っていえば「夏の土用」を指すことになった。そして、この「夏の土用」の18日間のことを「暑中」って呼ぶので、誰かに「暑中見舞い」を出すんだったら、この18日間のうちに、相手のところに届くように出さないとダメなのだ。「夏の土用」が終わり、8月8日の「立秋」を迎えたら、たとえ40度以上の猛暑だったとしても、「暑中見舞い」じゃなくて、「残暑見舞い」に変えなきゃなんない今日この頃、皆さん、いかがお過ごしですか？

(きっこのブログ)